

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 瀬戸小 学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）			最終評価（2月末）				
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期（中期）経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価
1	課題発見・解決力の育成と学力向上	★	新規	・主体的・対話的で深い学びのある授業づくり。	・カリキュラムマップの重点単元に基づき、授業の工夫改善を進める。	・職員アンケート肯定的評価85%以上 ・国語算数理科の単元末テスト85%以上 ・全国標準学力検査（CDT）の全国平均を超える。								
4	豊かな心の育成		継続	・他者とかかわり合いながら共によりよく生きようとする児童の育成。	・異学年で協力できるよう縦割り掃除を行う。 ・異学年交流が進むよう月に一度縦割り遊びを設定する。	・児童アンケート肯定的評価85%以上に する。								
4	たくましい体の育成		継続	・自己課題を設定し、継続して取り組める児童の育成。	・6月の新体カテストの結果を踏まえ、本校の弱い部分から運動課題を設定し、継続して取り組む。 ・食への関心を高める。	・6月と2月末の再測定の結果を比較し、記録が伸びた児童を60%以上に する。 ・「弁当づくりの日」を年3回設定し、お弁当作りカードの記入が1回目と比べてよいものになった児童を50%以上に する。								
1	開かれた学校づくりの推進		新規	・保護者や地域とのつながりを深める。	・校区カリキュラムマップの実現に向けた取組を行う。 ・「大好き、福山」の学習を地域に発信する。	・地域と連携した活動を行う（学期に1回以上） ・地域に貢献できた児童アンケート肯定的評価85%以上に する。								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。